



# れんげ (1歳児)



**じっくり「ひとり遊び」**  
大人と一緒に遊ぶことが大切な時期です。一緒に遊ぶことで、子ども達は遊び方や玩具の使い方を知っていき、集中して自分で遊ぶ力がついていきます。



**パズル・ブロック遊び**  
手指が急速に発達する時期でもあるため、型に合わせたり、規則正しく並べたりなど指で操作する遊びが盛んになります。



**肋木遊び**  
自分の身体を意識して使うことができるようになり、遊具遊びでは平衡感覚・体幹が培われていきます。



**アイヌの踊り**  
見聞きしてイメージできたことを複数の人と楽しめるようになるのも、この時期からです。



先生と手を繋いでお散歩  
「くるまきてないかな？きてなーい！」



どんぐりなど自然物が沢山  
落ちている天神山に到着。  
「どんぐり見つけよう！」



探索遊び・見立て遊び  
自然物にたくさん触れて季節を感じながら探索を楽しんでいます。見つけると嬉しそうに教えてくれます。どんぐりや葉っぱをご飯に見立てて、「どーぞー」と振舞ってくれたり遊びの中でやり取りも増えてきました。



遊びを通してお友だちとの関わりも増えてきました。